

●対戦が始まる前のあいさつ

●プレマッチミーティング(ボールを BP に渡し、審判台の方を向いてネットの中央に立つ)

「この試合は、8 ゲームプロセット、セミアドバンテージ方式で行います。

審判は SCU 方式で行いますので、「アウト」「フォールト」のコールは、対戦相手と私に分かるように大きな声とハンドシグナルでお願いします。明らかなミスジャッジは、私がオーバールールします。

隣のコートからボール等の妨害があった場合は、私が「レット」をコールします。

選手の皆さんは、「レット」をコールすることができません。サービスがネットに触れた時は、「ネット」のコールを私がします。ボールは 2 球使用で、ボールチェンジは 7 ゲーム終了後です。ボールパーソンは 3 名、うち 2 名がスコアパーソンを兼ねます。ウォームアップは 5 分間です。何か質問はありますか？では、今からコイントスを行います。」

●ウォームアップ開始(3minutes……2minutes……1minute)

●選手紹介アナウンス

「只今より、成年男子 1 回戦、〇〇県対△△県のシングルス No.1 の試合を 8 ゲームプロセット、セミアドバンテージ方式で行います。

審判台右側、〇〇県、A 選手、 審判台左側、△△県、B 選手 (名前はフルネームで)

先ほどのトスの結果、〇〇県がサービス(レシーブ)を選びました。

(〇〇県がエンドを選び、△△県がサービス(レシーブ)を選びました。)

5 分経過後 …「タイム！」

●試合開始アナウンス

「和歌山、姓 トゥーサーブ プレイ」

スコアカードに開始時間記入

<試合中に心がける事>

●レシーバーチェック

●ルーザーチェック → 大きな声でスコアアナウンス → スコアカード記入

※観客が多いので、拍手や声援などにも考慮したスコアアナウンスのタイミング

●ハンドシグナルは、選手のジャッジを押す時に。先ず選手がジャッジなので、出しすぎないように。

●オーバールールは明らかな時だけ！(選手がジャッジを確認してきたら…?)

●選手に何か聞かれたら、目を見てきちんと答える。サングラスは外す。

●BP のコントロール

ボールチェンジの時は、先ず使っていたボールを集めさせる
立つ位置(ファーストサーブフォールのボールを拾った後)

<試合中に起こりうるケース>

★AR の仕事…R の仕事の補助、試合の準備のチェック、現場のトラブル解決、
MTO の対処、担当コートはもちろんのこと全体的な進行への配慮
(トイレトブレイクの同行、お水などの受け渡し)

※事実問題と法的問題

AR が呼ばれたら…先ず SCU から事情を聞く→選手に説明

●ボールチェンジを忘れたら？

●ボールが隣から入って来た時 ※ノーレット、ポイント成立のケース
見逃して選手にアピールされた場合

●選手が落とし物をした時

1 回目…「レット、リプレイ ザ ポイント」「次に何か落としたり失点します。」

2 回目…「ヒンダランス」で失点

※落とし物にならない物は？

●トイレトブレイク

「基本的には 8 ゲームズプロセットではトイレトブレイクは取れません。」

緊急時に限り、シングルス 1 人 1 回、ダブルスはペアで 1 回

要求する選手(組)のサービスゲーム前に理にかなった時間内で行くことができる。

●メディカルタイムアウト…レフェリーに連絡

★(緊急でない場合)

選手がトレーナーを要請してきたら、体の箇所を聞き、エンドチェンジまでプレーを続けてもらう。

「トレーナーの要請です。○コートです。次のエンドチェンジまでお願いします。

(余裕があればスコアを言う)○○県の A 選手、右肩だそうです。」

★(緊急の場合)選手が転倒して起き上がれないなど

「大丈夫ですか？」と声をかける。場合によっては、様子を見に審判台から降りてもよい。

「トレーナーの要請です。緊急です！○コートに至急お願いします。○○県 B 選手が転倒しました。

足です。試合を中断しています。」

※ウォークーキーで急を要しない話をしていたら…「割り込みます！緊急です！」

※試合を中断している場合は、ウォークーキーを切らないこと。

「只今○○県がトレーナーを要請しています。」

★トレーナーが到着したら(ARと一緒に)

トレーナーが診察後、合図「只今よりA選手がメディカルタイムアウトを取ります。」

トレーナーと相手選手(チーム)に治療の残り時間を伝える。

「あと2分です。」「あと1分です。」「あと30秒です。」

治療が終わったら、相手選手に「治療終了しました。」と伝える。3分ぎりぎりまで治療していたら、トレーナーに「時間です。」と伝える。治療を受けた選手が靴下、シューズを履くなど、試合の準備が整ったら、観客、選手、BPに聞こえるように「タイム！」とアナウンスする。

★ARとトレーナーは、コートサイドで待機

次のエンドチェンジで、トリートメントを受けることができる(2回まで)。

●メディカルトリートメント(エンドチェンジの時間内)

テーピングの巻き直し、塗り薬、バンドエイド

●リタイア

レフェリーとトレーナーを呼ぶ

試合終了アナウンスは？

●雨の中断

コート内で待機の場合…選手が濡れないように配慮

選手がコートから引き上げる場合…中断時間の記録、Rに報告、試合ボールの保管

選手の待機場所確認、再開の連絡方法を監督に伝える。 ※コーチング OK、

ウォームアップの有無は？ その時使うボールは？

●コーチング

エンドチェンジのみ OK

※ARは、外からのコーチングに対応

選手や監督にしっかり受け答えする。不安な時はARを呼ぶ。

大会関係者として、オフコートでもきちんとした態度で。

私たちはチームです、SCU同士、ARとのコミュニケーションが大事。Rへの報告を忘れずに。